

# 凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第35号 2024. 3. 1 (金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続  
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』  
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

今週の目標：荘厳で厳粛な式典となるように、規律や礼儀、気品ある態度を身につけよう。

「卒業証書授与式」に向けた『最善最高の自覚と実践』（卒業生も在校生も）

担任の先生方と一緒に、卒業証書授与式の「意義」について考えてみましょう。

①自分がやるべきこと（学年集団として）、②自分たちが目指す姿（一中生として）について、しっかりと自分を見つめることを通して、全ての一中生の「成長」につなげてほしいと願います。

【3年生＝新たな生活に向けて 2年生＝最上級生として 1年生＝先輩として】

1 第一中学校では、卒業証書授与式を次のように考えています。

- (1) 卒業証書授与式は儀式的行事です。義務教育最後の儀式として、卒業生及びこれまで支えて下さった保護者の方々にとって、厳粛な中に思い出深い一日にしたいと思います。
- (2) 儀式であると同時に、一中生徒としての「最善最高」の学習の場であると捉えています。
- (3) 第一中学校の生徒として、誇りを持たせる大切な舞台と考えています。自分の学校に誇りを持つことは、自分の生き方に誇りを持つことにつながります。これは先生達も一緒です。全ての一中生が、希望の道を、誇り（一中プライド）を持って歩んでほしいと願っています。

2 第一中学校のきまりを遵守し、身だしなみと心を整えて式場に入りましょう。

- (1) 身なりが整わない状態で式に出るということは、みなさんの大切な儀式の場、大切な思い出の瞬間をかみしめる雰囲気乱すこととなります。  
3年間共に学んできた仲間や家族、支えになってくれた人達、みなさん自身のためにも、しっかりと考えるべき行動であると考えています。  
卒業証書授与式は、「15年間の大切な節目・未来への大切な節目」であることを全ての一中生が自覚することで、すばらしい卒業証書授与式となることだと思います。
- (2) もし、校則に違反したまま登校した場合  
一旦帰宅をし、家庭で改善をしてから、式に来てもらうこととなります。このことにより、式に間に合わなかった場合、式には入れなくなる場合があります。厳粛な雰囲気が崩れてしまいます。但し、やむを得ない理由により遅れた場合（病気等）はその限りではありませんので、その場合は連絡をお願いします。上記のことで開式時間を遅らせることはありません。みなさんの家族や地域の人達みんなでお手を取り合って、「おめでとう」、「頑張れよ」と言える一日にしましょう。

3 指定休業日（1. 2年生）の生活について

3月8日（金）は八代市内一斉に卒業証書授与式が行われます。本来なら3年生の門出を在校生全員で見送りたいところですが、体育館に収容する人数の関係で、第一中学校では、在校生を指定休業日として対応してきました。その点を踏まえて、3月8日（金）の指定休業日は以下のように過ごして下さい。

- ① 16：00までは家庭学習の時間とします。
- ② 外出は極力控えてください。食事等必要な外出の場合でも各家庭及び個人でのみとし、友だちと一緒に出かけるとはしません。
- ③ 卒業生を見送りたいと考える人もいるかもしれませんが、卒業証書授与式は卒業生とその保護者のために行います。3年生に兄・姉がいる人も式への参加はできません。その他の用事でも、原則、この日につきまちは登校はできません。
- ④ 他校でも式が行われます。他校の知り合いに会いに行くなどの行動は絶対にしないでください。他校の卒業式の雰囲気を台無しにしてしまう行為となります。

【八代市生活指導連絡協議会確認事項】